

## (4) 地域社会と学校・家庭との連携

### 現状と課題

近年、社会の進展に伴って、物質的な豊かさが広まり、価値観やライフスタイルも多様化してきています。一方、地域社会においては、人々の集う機会が減少し、互いに支え合おうとする意識が弱まるなど、人間関係が希薄になってきています。こういった状況は、家庭を孤立化させるとともに、学校や地域活動への参加意識を弱めるなど、地域の教育力の低下をまねいています。

地域社会の在り方やそこに存在するものの見方や考え方は、子どもはもとより、人々の人権感覚の醸成にも大きな影響を与えます。さまざまな人と出会ったり、多様な価値観にふれたりしながら、他者を尊重する態度や共に生きていく姿勢が身についていきます。そうした意味においても、家庭はその出発点であり、そのつながりが地域を構成するという認識が大切です。平成14年度より完全学校週5日制が実施され、学校と連携した地域社会の役割は、一層求められることとなります。一人一人が大切にされる地域コミュニティづくりに向け、家庭・学校・地域それぞれがもつ役割を担いつつ、お互いに連携・協働した取組を進める必要があります。

### 今後の方向

#### 開かれた学校づくりへの協力

今、学校は、子どもたち一人一人に生きる力をはぐくむため、地域に住む人々や身近にある企業や教育機関がもつ専門性や知識・技術などを教育力として求めています。

地域には、年齢・性別・国籍等、さまざまなちがいをもった人々がくらしています。趣味や特技、専門的な知識や技能などもそれぞれ異なっています。また、さまざまな活動団体もあります。こうした地域がもっている人的資源を生かしながら、学校にある教育課題を地域の課題へとつなぎ、解決していくことが必要です。また、学校は時代を通して地域社会の文化施設として大きな役割を果たしてきました。学校を舞台に学校のもつ人的・物的な資源を活かしながら、地域の課題の解決に向け、学校と地域が相互に連携する体制も整えたいものです。

#### 家庭への支援

家庭は、子どもの成長にとって、その基礎的な資質や能力を培い、人格を形成するうえで重要な場であり、人を大切にする教育の出発の場でもあります。愛情と信頼に基づいて子育てをすること、偏見をもたず、差別をしない生き方を保護者自らが日常生活において実践することは、自他を信頼する力の基礎をはぐくむなど、子どもに人権感覚を醸成するうえで重要な意味をもちます。

近年、家庭においては、核家族化・少子化・高齢化といった環境の変化に伴い、子育てや高齢者とのかわりに悩みや不安をもつことが多くなってきています。また、児童虐待やドメスティックバイオレンスなど、新たな問題も生まれてきています。同時に、教育への関心の高まりとともに、さまざまな情報のなかで、教育に関する悩みや不安も多くなってきています。

家庭の教育機能を高めるためには、家庭が果たす役割についての正しい情報を提供したり、子育て等についての相談体制や学習機会を充実したりすることが必要となります。さらに、多様な地域活動を展開することにより、子育てや高齢者の問題等、身近な問題について安心して情報交換が行える地域コミュニティづくりをすすめたいものです。

### 家庭・学校・地域の連携と活動の工夫

家庭・学校・地域は、人と人との出会いを通し、より良い生き方を学ぶ大切な教育の場であるとともに、学んだことを実践する場でもあります。つまり、家庭は親子等を中心とした人間関係づくりの場、学校は同年齢の児童生徒を中心とした人間関係づくりの場です。そして地域は、さまざまな立場の多くの人々が共に支え合い、つながり合う場です。その特性と役割を大切にしながら、三者が一体となった組織的な活動を展開することは、人権を大切にす文化を創造するうえで重要な要素であるといえます。

そのためには、まず、家庭・学校・地域をつなぐ組織づくりを進めていきたいものです。地域のなかで活動しているさまざまな人や団体、学校や家庭が、行事や研修会等の活動を企画・立案し、共に実施し、それを次の取組につなげていくといった地域コミュニティづくりに努めたいものです。

## こんなことやってます

ある市では、家庭・学校・地域が連携して取組を進める「児童生徒育成連絡会」が結成されています。各地域では、子どもの実態や地域の実情に応じて、話し合い、講演会の開催、他地域への見学など、さまざまな取組が行われています。

また、このような取組の積み重ねは、新たな活動を生んでいます。

子育てについてのアドバイスなどをするした「子育てカレンダー」、子どもの成長や保護者のかかわりについてわかりやすく解説した「子育てハンドブック」等が、学校・保育園・地域・保護者の協働で作られ、地域における子育て資料として広く活用が図られています。

今では、こうした取組が周辺地域を巻き込んだ子育ての取組へと新たな一歩を踏み出そうとしています。



(協働作業で作った「子育てカレンダー」と「子育てハンドブック」)

## 「おはよう」のなかから・・・

ある小学校区では、地域の交通安全協会、防犯協会といった組織だけでなく、民生委員会、更生保護婦人会、さらには地元高校の生徒会がつながりながら、子ども達の登校を見守る活動が行われています。



(撮影場所 都祁村内)

月2回の登校指導の日には、早朝から校区全域に子育てに関する「のぼり」が立てられ、通学路の要所要所で、大人たちは地域の子に、高校生は後輩達に、それぞれ思いのこもった声かけられています。集合場所から子ども達と一緒に登校する高齢者の姿もみられます。